

常任委員会視察研修報告

総務委員会

(11月7日～8日)

文教福祉委員会

(11月7日～8日)

経済建設委員会

(10月23日～24日)

「大阪府岸和田市の防災の取り組み」

「兵庫県淡路市の北淡震災記念公園」

岸和田市では、災害時の重度障害者・要介護高齢者などのため、安否確認実施マニュアルを策定しており、名簿は市内の民生・児童委員、町内会・自治会長、消防本部に配布し、住居の確認をしています。

同市は、有名な「だんじりまつり」の組織が子どもから若者、高齢者など幅広く作られており、この組織が万一の災害の場合大きく働くものと思われまます。愛西市でも、横のつながりを強める必要があると思います。

北淡震災記念公園では、阪神・淡路大震災の際の生々しい状況、消防団や地域住民の活動状況、良かった点や問題点についての講演を受け、地震への備えに対する重要性を再認識いたしました。



「静岡県藤枝市の健康マイレージ事業」

「御殿場市市民交流センター複合集約施設」

静岡県藤枝市では、日々の運動や食事などの目標を達成した場合や、健康診断、ウォーキングイベントなどに参加した場合、ポイントを付与し、協力店でサービスを受けられる、健康マイレージ事業を実施しており、市民の健康づくりを応援する取り組みを勉強しました。

御殿場市では、子供から高齢者まで多くの人が利用できる総合福祉機能を備えた交流施設「ふじさくら」を運営しています。施設は「総合窓口」「市民交流」「高齢者支援」「市民活動支援」「児童育成」の5部門で構成しており、建物は幼児から高齢者まで幅広い世代の市民、また、障害のある人に配慮したユニバーサルデザインになっています。いろいろな年代の人に会える機会がある交流の集約施設は、大変に参考になりました。



「滋賀県近江八幡市の風景づくり事業」

「滋賀県栗東市の道の駅アグリ郷栗東」

近江八幡市は、風景づくり条例に基づいた6ゾーンの計画を定めており、風景づくりを進め、美しく風格のあるまちをつくるため、学識経験者らによる風景づくりアドバイザー制度を設けて専門的な技術支援をしたり、風景資産の推薦や登録制度を設けたりしています。残すべき風景を計画をもって保存していく大切さを学びました。

栗東市の道の駅「アグリ郷栗東」では、地元で生産された農産物を使って6つの工房が健康、環境、おいしさにこだわって特産品を生み出しています。みそ工房、豆腐工房、うどん工房他多種あり、うどん作りの体験道場もあります。リピーターを増やす手法が参考になりました。

